

フィールド養液栽培

環境保全型養液栽培装置



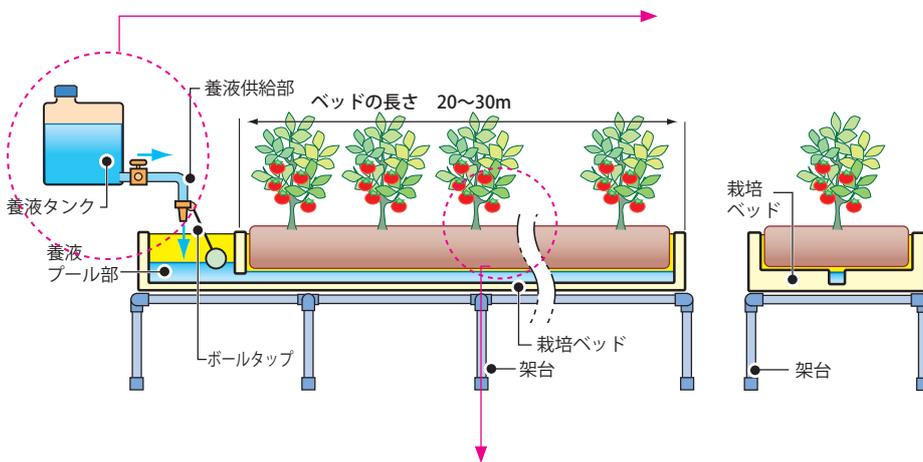
フィールド養液栽培装置

フィールド養液栽培装置は、
電気を使用せず排水を出さない、ローコスト・環境保全型の養液栽培システムです。



ローコスト	栽培システムは複雑な機器が不要で、導入コスト・栽培コストも大変安価です。
電気不要	養液供給に電気は必要ありませんので水の供給さえあれば電気がないところでも栽培できます。
排水がない	栽培に必要な量だけ養液を供給するため、排水を外に出しません。
組立・設置が簡単	発泡スチロールベットを置き、シート・培地を入れるだけでOK。誰でも簡単に設置ができます。
栽培も簡単	土壌に変わる培地(パミスサンドなど)を使用しますので、誰でもすぐ栽培できます。
適地・適作	培地などは地域の特性・栽培品目に合わせて自由に組み合わせ可能です。
有機栽培可能	培地に有機土壌を使用すれば、有機栽培用の装置としても使用可能です。
既設ハウスに設置可能	既設のビニールハウスにも簡単に設置できるため、施設コストを抑えることが可能です。

構造



○養液タンク部



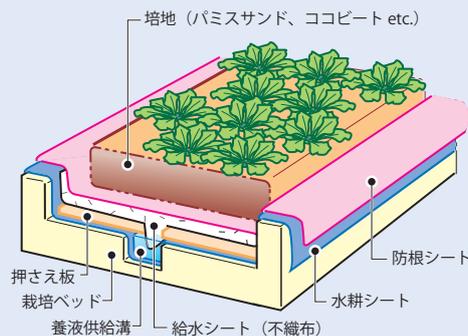
○養液供給部



ベッドへの養液供給はタンクからボールタップを介して行う。

○栽培ベッド部

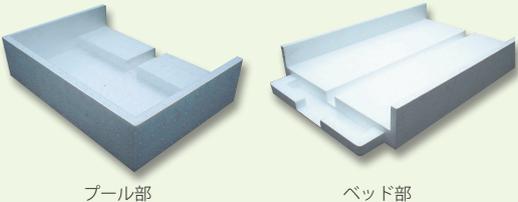
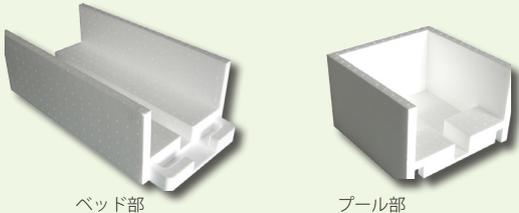
ベッド部の溝の養液を給水シートが吸上げ、培地へ養液を供給。



○架台設置例



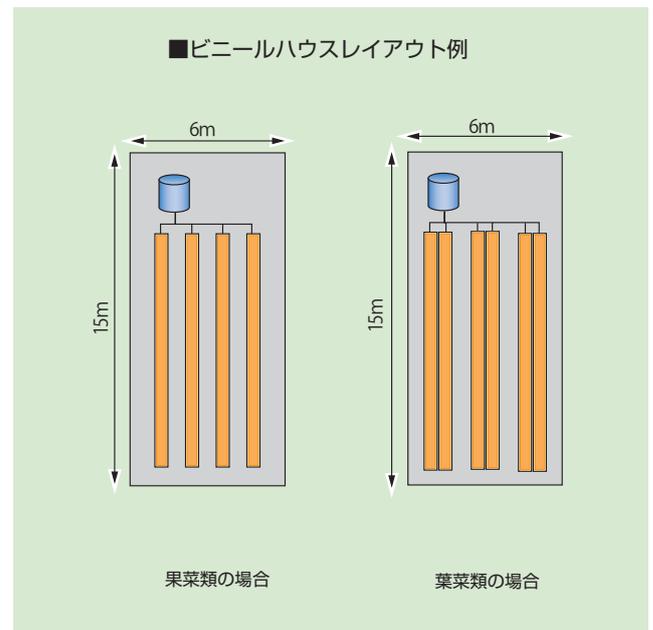
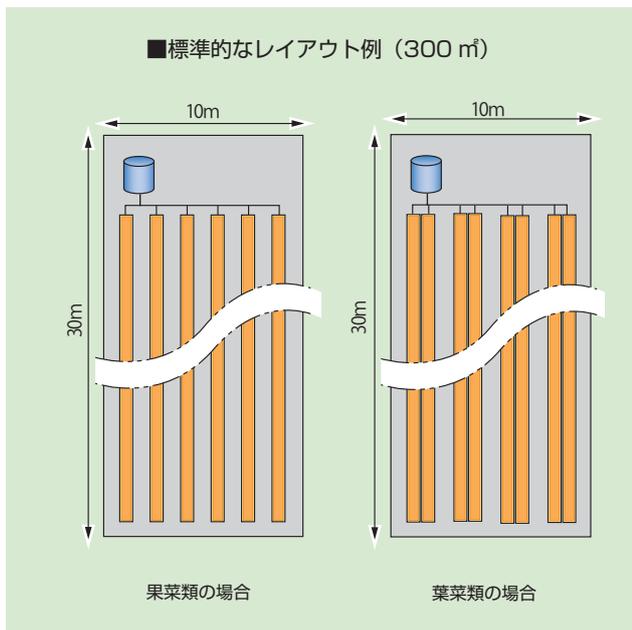
仕様

	「葉菜類用」フィールド養液栽培装置	「果菜類用」フィールド養液栽培装置
ベッド部	W650 × L900 × H175mm	W350 × L630 × H220mm
プール部	W650 × L450 × H175mm	W350 × L350 × H220mm
給液方法	底面給液方式（タンク・給液シートからの自然給液）	
シート	水耕シート・給液シート・防根シート	
使用培地	パミスサンド（軽石）・ココピート・セラミック・有機土など用途に応じて選択	
写真	 <p>プール部 ベッド部</p>	 <p>ベッド部 プール部</p>

※最適ベッド長：20～30m/1列

トータルシステムの提案・設計

- 既設のビニールハウスから、低コスト耐候性ハウスなど、設備規模に合わせて最適な提案・設計をサポートします。



○栽培ベッドの設置



○培地



○収穫時期の様子



設置例



ミズナ



イチゴ



キュウリ



トマト (定植時)



トマト

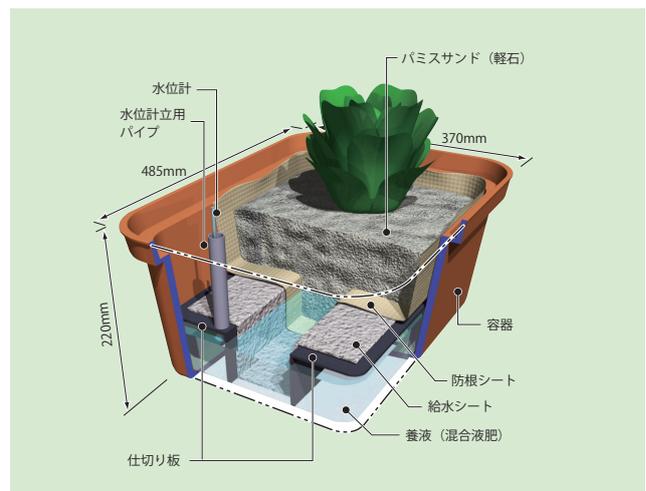


リーフレタス

野菜うきうきミニ

電気いらずで、どなたにでも、手軽に、養液栽培をお楽しみいただけます。

- 一般農家向けに開発された養液栽培システムを、家庭向けにアレンジ。手軽でありながらプランター感覚で本格的な栽培が楽しめます。
- 組立も養液の補給も簡単。水位計が下がった分だけ水を補給するだけで、適切な灌水管理が行えます。
- 養液の補給は、2週間に1回程度でOKです。
※補給間隔は、天候・気温・栽培品目・植付け数で異なります。
- 培地のパミスサンドは、取り扱いが容易で、病気の発生が抑制できる軽石タイプの培地です。
洗い流すことで、繰り返し使用できます。
- パミスサンド以外にも市販の各種培地のご利用も可能です。



○セット内容



- | | |
|-------------|-------------|
| ①容器 1式 | ②仕切り板 2枚 |
| ③水位計立用パイプ1本 | ④水位計 1本 |
| ⑤専用肥料 | ⑥パミスサンド 10L |
| ⑦給水シート | ⑧防根シート |
| ⑨排水栓 | ⑩オーバーフロー栓 |



- ・レタス ・ホウレンソウ ・トマト ・キュウリ ・ラディッシュ ・コカブ
 ・コマツナ ・チンゲンサイ ・ナス ・パプリカ ・ジャガイモ

エスペック ミック 株式会社 <http://www.especmic.co.jp>

● 製品に関するお問い合わせは info@especmic.co.jp
 フードテック事業部 530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6
 Tel : 06-6358-4855 Fax : 06-6358-4856

東京 羽田ラボ
 和泉ラボ

● 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 ● このカタログの記載内容は、2021年6月現在のものです。